

国立波方海上技術短期大学校 ～学生を対象とした船種別勉強会開催・教員との意見交換会実施～

日本船主協会では、優秀な日本人海技者確保のための広報活動を展開しております。
当協会は、昨年度から再開した海技教育機構傘下各校での勉強会を今年度も実施し、この度、国立波方海上技術短期大学校（愛媛県）を訪問、船種別勉強会および同校教員との意見交換会を開催しました。

当勉強会は、労政幹事会「内航ワーキンググループ（WG）」のメンバーが中心となり、海技教育機構の学校の生徒・学生や教員を対象に、内航海運の現状や運航および荷役実務等について講演を行い、生徒指導や学習に資することを主な目的としています。

10 回目の開催となった今回は、三洋海運、イースタンマリンシステム、日鉄物流、上野トランステック、栗林商船、田淵海運および大光船舶が国立波方海上技術短期大学校を訪問しました。

学生対象の勉強会では、各社が運航する石灰石専用船、セメント船、一般貨物船、タンカー、Ro-Ro 船、LPG 船およびケミカルタンカーについて船体説明や荷役等について、実体験を交えながら講演を行いました。講演後各社に対して「仮バースする頻度」や「荷役時間」等といった質問が挙がり、各講師が回答いたしました。

教員との意見交換会では、学校側から波方校に関する説明から始まり、同校への募集状況や学生の就職状況、体験乗船における困難事例等について、意見交換を行いました。

当協会は今後も海技教育機構傘下の学校を直接訪問し、生徒・学生や教員と直接意見交換を続けていくとともに、優秀な日本人海技者確保に向け、関連機関と協力して幅広い活動を継続していきます。



勉強会の模様



意見交換会の模様